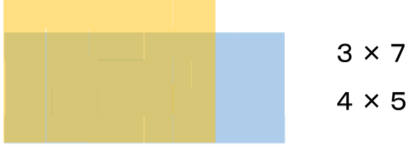


5 本時の目標

身の回りにあるものの面積に関心を持ち、任意単位による比較ができる。

6 本時の展開

	学習活動	想定されるつまずき	手立て	評価規準
つかむ (3分)	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>メイン課題 どちらがひろいか比べる</p>  <p>3 × 7 4 × 5</p>	<p>長さや広さの概念の混合 (Y・T)</p>	<p>広いというのは、どれだけ入るかなどの大きさであることを共通認識しておく。</p>	
	<p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>め：じんとりゲームのはんていができるようになるう。</p>	<p>どうなっていたら、そっちの方が広いということになるのかの基準 (U・H児, Y・T児)</p>	<p>全体で、どうなっていたら広いといえるのかを共有し、疑問が残るものは確かめておく。</p>	
考える (7分)	<p>3 エキスパート活動</p> <p>エキ1：1つ分の大きさが違う エキ2：並べ方がバラバラ エキ3：形は違っても広さは同じ</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料と同じものを操作して話し合わせる。</li> <li>操作する際に活用するタイルは、正しく敷き詰められているかを把握しやすいよう、透明なものを活用する。</li> </ul>	
考える (10分)	<p>4 ジグソー活動</p> <p>メイン課題をジグソーグループで解決</p>	<p>どうなっていたらそれが広いといえるのかの理解 (U・H児, Y・T児)</p>	<p>形がちがっていても、数がおなじだから同じ広さだということを理解する資料にわりあてる。</p>	
まとめる (15分)		<p>任意単位で比較する際に、大きさを揃えるという条件を理解できていない (Y・Y児, Y・T児)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷き詰め作業の際に生じる、ほんのわずかなずれにこだわる児童にはこだわらないよう伝える。</li> </ul>	
ふり返る (10分)	<p>5 クロストーク</p> <p>ま：どちらがひろいか、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いくつ分かで比べるときは、大きさが同じものを、すきまなくしきつめた数でくらべられる。</li> <li>かずが多い方が広い。</li> </ul>		<p>他の児童の説明を聞かせる。その際に説明を聞いて、理解できるように資料と同じものが動かせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積を任意単位で比べることができる。</li> </ul>
	<p>6 適応問題を解く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>任意単位で面積を比較する場面の問題</li> </ul>			